

第15章 福島県立美術館

第1節 概要

1984年に開館した福島県立美術館は、さまざまなテーマに基づく展覧会、創作や芸術鑑賞のための各種講座等の事業を実施している。また、文化財としての美術作品の収集保存、美術や地域の芸術運動に関する調査研究を継続的に実施している。これらの活動を基盤に、美術の情報センターとしての機能を担っている。

当年度の美術館活動の概要は以下のとおりである。

1 美術館運営協議会

(1) 委員

山口 功	福島県中学校教育研究会美術専門部 (平成 25.1.1 ~)
番匠あつみ	福島県高等学校教育研究会美術工芸部会会員 (平成 27.1.1 ~)
遠藤俊博	公益財団法人福島県文化振興財団理事長 (平成 25.1.1 ~)
坂本節子	福島県家庭教育インストラクターいわきの会事務局長 (平成 25.1.1 ~)
酒井昌之	福島県美術協会会長 (平成 19.1.1 ~)
本保 晃	日本放送協会福島放送局長 (平成 27.10.17 ~)
星眞智子	西会津国際芸術村事務長 (平成 27.1.1 ~)
清水眞砂	世田谷美術館教育普及課長兼分館長 (平成 27.1.1 ~)
齋藤美保子	郡山女子大学短期大学部教授 (平成 27.1.1 ~)
貝沼幹夫	福島県立美術館友会の会副会長 (平成 25.1.1 ~)

(2) 協議会の開催

- ア 期日 平成 28 年 2 月 25 日(木)
- イ 内容 ・運営協議会会長及び副会長の選出
・平成 27 年度事業実績の概要
・平成 28 年度事業計画書の概要
・県立美術館の運営等

2 他館等との連携

県内外の博物館施設および全国組織等との連携を図り運営・事業等に関する情報交換や研修等を実施した。

- 加盟団体 ・全国美術館会議 (理事)
・日本博物館協会 (会員)
・日本博物館協会東北支部 (監事)
・東北地区博物館協会 (監事)
・福島県博物館連絡協議会 (理事)

第2節 美術品の収集・保存

優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、文化財を保存継承するために、コレクション(収蔵作品)の収集活動を継続的に行っている(ただし平成 22 年度以降、作品購入実績はない)。

今年度は作品 219 点および美術資料 15 件を寄贈により収蔵した。

1 収蔵作品点数(平成 28 年 3 月 31 日現在)

海外作品	450 点	
日本画	319 点	
洋画	803 点	
版画	1,143 点	
立体	129 点	
工芸	154 点	
書	37 点	
素描・下絵	197 点	
写真	410 点	
計	3,642 点	美術資料 44 件

2 収集評価委員会

(1) 委員

原田 光	岩手県立美術館長 (平成 23.12.1 ~)
村田眞宏	豊田市美術館長 (平成 23.12.1 ~)
荒屋鋪透	元ポーラ美術館長 (平成 23.12.1 ~)
三上満良	宮城県美術館副館長 (平成 23.12.1 ~)
佐々木吉晴	いわき市立美術館長 (平成 23.12.1 ~)

(2) 委員会の開催

- ア 期日 平成 28 年 2 月 10 日(火)
- イ 内容 ・平成 26 年度収集作品の報告
・平成 27 年度収集候補作品について

3 平成 27 年度収蔵作品

(1) 美術作品及び美術資料の収集

海外作品	ヤコブ・アガム	1 点
	アレキサンダー・コルダー	1 点
	ジャン・カルトン	1 点
	ロベール・クーチュリエ	1 点
	ヴェナンツォ・クロチェッティ	1 点
	シャルル・デスピオ	4 点
	ペリクレ・ファッツィーニ	1 点

	エミリオ・グレコ	2点	
	マリノ・マリーニ	1点	
	ヘンリー・ムーア	1点	
	オーギュスト・ロダン	3点	
国内：日本画	朝倉 摂	8点	
国内：洋画	鎌田正蔵	77点	
	川島 清	1点	
	佐藤忠良	7点	
	原 裕治	1点	
	舟越道子	1点	
	渡部 武	5点	
国内：素描・下絵			
	朝倉 摂	24点	
	鎌田正蔵	13点	
	笹戸千津子	4点	
	佐藤忠良	10点	
	舟越保武	1点	
国内：版画	草間彌生	1点	
	小磯良平	20点	
	佐藤忠良	10点	
	藤田嗣治	1点	
	吉川静子	1点	
国内・立体	吾妻兼治郎	2点	
	岩野勇三	1点	
	掛井五郎	1点	
	木内 克	2点	
	桜井祐一	1点	
	笹戸千津子	2点	
	佐藤忠良	1点	
	澄川喜一	1点	
	高田博厚	1点	
	流 政之	1点	
	西山勇三	1点	
	舟越保武	2点	
国内：工芸	木村芳雨	1点	
国内：資料	石原コレクション関係資料	4件	
	大嶋陽三関係資料	6件	
	鎌田正蔵関係資料	2件	
	川妻さち子関係資料	3件	
	計	219点	美術資料 15件

(2) 図書資料の収集 (平成 28 年 1 月 31 日現在)

収蔵図書数 56,444 冊

4 保存修復

美術品の状態を維持回復し、美術品の保管・展示の環境を良好に保つために、計画的に美術品の修復や館内の保存環境調査を実施している。

(1) 彫刻作品の清掃と状態点検の実施

ア 時期 平成 28 年 3 月 5 日～7 日

イ 内容 エントランス、ロビーの彫刻作品の清掃と状態点検等

(2) 美術作品の修復

今年度は元永定正《作品 1》、斎藤義重《作品 13》、大山忠作《室内》の修復を実施した。

(3) 敷地内の放射線測定

ア 時期 毎月 1 回、計 12 回測定

イ 場所 美術館内および敷地内 計 45 か所

※虫菌害モニタリング調査は長期休館のため実施しなかった。

第 3 節 展示事業

1 常設展

収蔵および寄託の美術作品を展示している。美術の多様な領域や数多くの作家を紹介するとともに、作品の状態の保全に配慮して、年 4 回 (版画は年 8 回) 展示替えを行っている。

(1) コレクション展Ⅳ

ア 会期 平成 27 年 1 月 6 日 (火)～4 月 5 日 (日)

イ 主な内容

- ・没後 50 年 須田きょう中：《篝火》《枯山水石組》など
- ・院展の日本画：福王寺法林《バドガオンの月》など
- ・生誕 100 年 野地正記：《スダマティ》など
- ・100 年前の関根正二：《死を思う日》《大樹》《裸婦》など
- ・河野保雄コレクション：麻生三郎、竹久夢二など
- ・海外作品：ワイエス、ベン・シャーン、ルオーなど
- ・斎藤清とエルンスト

(2) 移動美術館

当館所蔵作品の一部を、県内の文化施設で公開展示する事業で、開催館との協働でテーマ、作品選定から実務までを行う。

今年度は長期休館にともない県内 4 会場で開催している。

ア ふるさと会津の人と四季 福島県立美術館名品展

(ア) 会期 平成 27 年 5 月 2 日 (土)～6 月 21 日 (日)

(イ) 会場 福島県立博物館 企画展示室

(会津若松市城東町 1-25)

(ウ) 展示数 61 点

(エ) 主催 福島県立美術館、福島県立博物館

(オ) 観覧料 一般・大学生 270(210)円、高校生以下無料

※()内は 20 名以上の団体料金

(カ) 観覧者数 5,992 名

(キ) 概要

豊かな自然に囲まれ悠久の時を刻んできた会津地方には美術を育む風土が脈々と息づいており、日本画では湯田玉水、坂内青嵐、酒井三良ら、水彩画では相田直彦、春日部たすく、渡部菊二らなど、個性あふれる画家たちを輩出した。なかでも会津坂下町出身の斎藤清は、会津の風景を独自の造形感覚で表現し、戦後日本を代表する版画家となっている。本展ではこれら奥深い会津文化の魅力、会津出身・ゆかりの画家たちの名品約 60 点により振り返った。

- (ク) 関連事業
- a ギャラリートーク
- (a) 期日 5月2日(土)
解説 早川博明(当館館長) 参加者 53名
- (b) 期日 5月16日(土)
解説 坂本篤史(当館副主任学芸員)、
白木ゆう美(当館学芸員)
参加者 44名
- (c) 期日 6月21日(日)
解説 堀 宜雄(当館専門学芸員) 参加者 42名
- b 公開対談「喜多方美術倶楽部をめぐって」
期日 6月6日(土)
解説 後藤 學氏(喜多方市美術館長)、
増淵鏡子(当館主任学芸員) 参加者 60名

イ 美術史を彩る名画の旅 福島県立美術館名品展

- (ア) 会期 平成27年10月16日(金)～11月23日(月・祝)
- (イ) 会場 須賀川市立博物館(須賀川市池上町6)
- (ウ) 展示数 68点
- (エ) 主催 須賀川市立博物館、福島県立美術館
- (オ) 観覧料 大人200(150)円、大学・高校生100(70)円、
中学生以下・65歳以上は無料
- ※()内は20名以上の団体料金

(カ) 観覧者数 5,128名

(キ) 概要

モネ、ピサロ、ルノワール、ワイエス、ベン・シャーンなどのフランス、アメリカ絵画から、関根正二、岸田劉生、安井曾太郎、速水御舟、村上華岳らの日本近代絵画まで、美術の教科書や画集を彩ってきた35名の巨匠たちの作品約70点を通して、当館コレクションの魅力に迫った。

- (ク) 関連事業
- a ギャラリートーク
- (a) 期日 10月17日(土)
解説 早川博明(当館館長) 参加者 70名
- (b) 期日 11月14日(土)
解説 坂本篤史(当館副主任学芸員)
参加者 40名
- b 視覚障がい者のための鑑賞ワークショップ
期日 11月22日(日)
解説 真下弥生氏(ルーテル学院大学非常勤講師)、
半田こずえ氏(明治学院大学非常勤講師)
参加者 20名

ウ ふるさとが誇る美術家たち 福島県立美術館名品展

- (ア) 会期 平成28年1月19日(火)～2月21日(日)
- (イ) 会場 大山忠作美術館、市民ギャラリー
(二本松市本町2-3-1 二本松市市民交流センター3F)
- (ウ) 展示数 44点
- (エ) 主催 福島県立美術館、二本松市教育委員会

(オ) 観覧料 大人 410(300)円、高校生以下 200(150)円
※()内は20名以上の団体料金

(カ) 観覧者数 1,041名

(キ) 概要

二本松市合併10周年を記念し、日本画科・大山忠作をはじめ、橋本高昇、橋本朝秀、橋本堅太郎、荻生天泉や石川良風、古川盛雄など二本松ゆかりの作家たちの作品を紹介。併せて、角田磐谷や斎藤清による福島の風景を描いた作品を紹介した。

(ク) ギャラリートーク

- a 期日 1月23日(土)
解説 早川博明(当館館長) 参加者 50名
- b 期日 2月6日(土)
解説 荒木康子(当館専門学芸員)、
白木ゆう美(当館学芸員) 参加者 50名

2 企画展

平成26年度会期から継続となった企画展示1回を開催した。

(1) 飛驒の円空 千光寺とその周辺の足跡

ア 会期 平成27年1月27日(火)～4月5日(日)

イ 分野 仏像

ウ 展示数 43点

エ 主催など

主催 飛驒の円空展開催実行委員会(福島県立美術館、
福島民友新聞社、飛驒千光寺)

協力 東京国立博物館、読売新聞社、NHK、NHKプロ
モーション、高山市、高山市教育委員会

後援 福島市、福島市教育委員会、福島県市長会、福島
県町村会、福島県仏教会、福島県商工会議所連合
会、福島県商工会連合会、福島中央テレビ、ふく
しまFM、TeNYテレビ新潟、ミヤギテレビ、RAB
青森放送、テレビ岩手、ABS秋田放送

特別協賛 こころネットグループ、JAグループ福島

協賛 富士通、(公財)JKA

オ 観覧料 一般1,000(800)円、大学生900(800)円、高校
生以下無料 ※()内は前売および20名以上の団体料金

カ 観覧者数 6,659名(総観覧者数35,615名)

キ 概要

江戸時代前期、美濃国(現在の岐阜県)に生まれた僧、
円空(1632-1695)は、近畿から北海道まで諸国を巡っ
て造仏修行に励み、各地に5,000体以上の仏像を残して
いる。今回は円空ゆかりの飛驒・千光寺所蔵の「両面宿
儼坐像」「歓喜天立像」をはじめ、岐阜県高山市所在の
円空仏を展示した。なお本展は平成25年春に東京国立
博物館で開催された特別展を巡回展示したものである。

ク 関連事業

関連展示「円空さんに手紙を書こう 応募作品展」

展示期間 3月14日(土)～4月5日(日)

会場 美術館エントランスホール

第4節 調査研究事業

1 調査研究

調査研究は美術館活動の基礎をなし、また広く県民に対して美術の情報センター機能を果たすためにデータ集積が欠かせない。県内外の美術家や作品の調査、教育普及、保存、展示等の調査を継続的に実施している。

今年度は県内の美術品調査と、第二次世界大戦後に活躍した作家の調査を重点的に行った。

第5節 普及事業

美術をより深く知る喜びを得る機会を提供する事業として、さまざまな講座を開催している。また、つくる楽しみを経験する契機として、各種の実技講座や、学校と連携しての出張講座等を行っている。

1 館内解説

学校や公民館その他の団体での鑑賞者のために、鑑賞前に学芸員が美術館の概要、鑑賞のマナー、代表的な収蔵作品の解説、常設展示や企画展示の概要等のガイダンスを行っている。

今年度（平成27年4月1日～5日）の団体総数は9団体294人である。

2 実技教室

実技教室は、広く県民各層の美術に関する関心をふまえ、美術創作と鑑賞の理解を深める一助とする目的で、各種プログラムを実施している。今年度は長期休館にともない福島市内の施設を会場として開催した。

(1) 実技講座

ア 「創作のための人体クロッキー」

期日 平成27年9月27日(土)、10月3日(土)、4日(日)

講師 上田耕造氏（画家、アトリエ21主宰）

会場 福島県文化センター1階会議室

参加者 5名

イ 「西洋の古典画法：モザイクの制作」

期日 平成28年2月13日(土)、20日(土)、21日(日)

講師 森 敏美氏（東北生活文化大学教授）

会場 福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4

参加者 7名

(2) 技法講座

ア 「西洋古典絵画に見るデッサンの画材と技法」

期日 平成27年6月27日(土)、28日(日)

会場 福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4

講師 三浦明範氏（武蔵野美術大学教授）

参加者 9名

イ 「～ボックスアート～ふしぎな世界の入り口」

期日 平成28年1月30日(土)、31日(日)

会場 福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4

講師 酒井賢司氏（イラストレーター、グラフィックデザイナー） 参加者 14名

(3) 親と子の美術教室

ア 「親子で作ろう！カラフルクレヨン」

期日 平成27年5月5日(火・祝)

会場 福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4

講師 小原典子氏（美術家）

参加者 小学生の親子5組10名

イ 「親子でつくろう！アートなスイーツ」

期日 平成27年8月29日(土)

会場 福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4

講師 森 愛子氏（造形作家）

参加者 小学生の親子5組12名

(4) 一日創作教室

ア 「光・色に触発されたイメージを描く」

期日 平成27年5月24日(日)

会場 福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4

講師 久慈伸一（当館専門学芸員） 参加者 3名

イ 「スクラッチボードによる表現」

期日 平成27年11月15日(日)

会場 福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4

講師 久慈伸一（当館専門学芸員） 参加者 7名

(5) わんぱくミュージアム

ア 「夏休み、工作大作戦！」

期日 平成27年7月25日(土)

会場 福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4

講師 國島 敏（当館主任学芸員） 参加者 7名

イ 「くるくる・ゆらゆらモビールをつくろう！」

期日 平成27年10月31日(土)

会場 福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4

講師 白木ゆう美（当館学芸員） 参加者 4名

ウ 「ちょっと大きなスノードームをつくろう！」

期日 平成27年12月20日(土)

会場 福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4

講師 國島 敏（当館主任学芸員） 参加者 5名

3 美術館・学校教育連携事業

(1) 学校連携共同ワークショップ

学校からの要望をもとに平成15年度より開催する連携事業。子どもたちが作家と触れ合う機会として、作家・学校・美術館の共同による創作活動を中心にした「出張ワークショップ」を開催している。この事業により相互の協力関係を密にし、新鮮な体験を通して美術や美術館への関心を高めるとともに、通常は美術館を利用しにくい地域へも文化事業の還元を図る。

今年度は「おとなりアーティスト」をテーマに幼・小・中・高校合わせて12校で開催した。ワークショップ作品は平成28年1月5日(火)～11日(月・祝)の期間、福島市A・O・Z（アオウゼ）にて活動中のスナップ写真とあわせて展示した。

ア 「ごみりのべ (Waste Renovation) not RE CYCLE but NEW CYCLE! ～リサイクルじゃない新しいサイクルを考えよう～」

講師 アサノコウタ氏 (建築家)

- (ア) 期日 平成 27 年 9 月 19 日(土)、10 月 3 日(土)、
12 月 1 日(火)、12 月 15 日(火)
参加者 県立いわき総合高校 18 名
- (イ) 期日 平成 27 年 10 月 21 日(水)
参加者 二本松市立塩沢幼稚園 9 名
- (ウ) 期日 平成 27 年 12 月 26 日(土)、12 月 27 日(日)
参加者 日本大学工学部建築学科建築研究会 11 名

イ 「大地のえのぐで絵をえがこう！」

講師 佐藤 香氏 (土絵作家)

- (ア) 期日 平成 27 年 9 月 20 日(日)
参加者 天栄村立天栄中学校 8 名
- (イ) 期日 平成 27 年 9 月 25 日(金)、9 月 28 日(月)、
10 月 5 日(月)
参加者 会津美里町立高田中学校 111 名
- (ウ) 期日 平成 27 年 9 月 26 日(土)、10 月 11 日(日)、
10 月 12 日(月)、10 月 24 日(土)
参加者 会津若松市立第一中学校 20 名
- (エ) 期日 平成 27 年 10 月 10 日(土)
参加者 いわき市立磐崎中学校 20 名
- (オ) 期日 平成 27 年 10 月 14 日(水)
参加者 県立いわき養護学校くぼた校 6 名
- (カ) 期日 平成 27 年 10 月 23 日(金)
参加者 福島市立森合小学校 112 名

ウ 「つなげて、つくって、テキスタイル！」

講師 坂内まゆ子氏 (テキスタイル作家)

- (ア) 期日 平成 27 年 10 月 15 日(木)、10 月 16 日(金)
参加者 本宮市立本宮まゆみ小学校 52 名
- (イ) 期日 平成 27 年 10 月 20 日(火)、10 月 22 日(木)
参加者 学校法人堀内学園富岡幼稚園 18 名
- (ウ) 期日 平成 27 年 10 月 27 日(火)
参加者 二本松市はらせ幼稚園 10 名
- (エ) 期日 平成 27 年 11 月 18 日(水)、12 月 16 日(水)
参加者 認定こども園喜多方教会附属いづみ幼稚園 34 名

(2) 先生のための美術館入門

小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞指導について講座を開講する福島県教育センターと連携しながら、学校における美術館の活用方法を考える。今年度は、県立博物館における移動展示「ふるさと会津の人と四季」展において開催した。

期日 平成 27 年 6 月 16 日(火)

参加者 小学校教諭 4 名、中学校教諭 6 名、高校教諭 1 名

(3) アートカード検討会

当館アートカードは、県内の小学生から高校生及びその教職員が主な利用対象者となる。制作にあたって、学校現場の意見を取り入れていくため、県内の小、中、高等学校の教諭及び教育関係者と検討会を実施した。

(ア) 第 1 回 6 月 13 日(土) 13 名出席

内容：当館アートカード概要説明及び検討事項の確認

(イ) 第 2 回 7 月 18 日(土) 15 名出席

内容：先生方の自作アートカード実践報告
アートカードを作る意義について等

(ウ) 第 3 回 9 月 12 日(土) 11 名出席

内容：先生方の自作アートカード実践報告
アートカードへの意見要望等

(エ) 第 4 回 10 月 17 日(土) 10 名出席

内容：展覧会に併せたアートカード実践報告
試作アートカード制作に向けての検討 (造形要素、配色、作家出身地、ジャンル等の確認)

(オ) 第 5 回 11 月 14 日(土) 13 名出席

内容：試作アートカード制作に向けての検討 (作品テーマ、児童・生徒の好み、シリーズ等について)

(カ) 第 6 回 12 月 13 日(日) 14 名出席

内容：試作アートカード制作に向けての検討 (全体のバランス、作品シリーズの中からのセレクト、微調整)

4 友の会、協力会との連携事業

(1) 友の会通常総会

期日 平成 27 年 5 月 31 日(日)

会場 美術館講義室 参加者 17 名

(2) 友の会美術映画鑑賞会

ア 「ヴァチカン美術館 3D 天国への入口」

期日 平成 27 年 4 月 18 日(土)

解説 「ヴァチカン美術館と映画の見所」

坂本篤史 (当館副主任学芸員)

会場 福島フォーラム 参加者 70 名

イ 「ターナー、光に愛を求めて」

期日 平成 27 年 9 月 5 日(土)

解説 「ターナーの生涯と画業について」

富岡進一氏 (郡山市立美術館学芸員)

会場 福島フォーラム 参加者 80 名

(3) 移動美術館「ふくしまからの発信 福島県立美術館所蔵世界の名作版画展／東日本大震災文化財救援活動報告展」

福島県立美術館協力会との共催により県文化センターで移動美術館展を開催した。2 部構成によりピカソ、ルオー、シャガール、エルンストの版画を展示。同時開催として「東日本大震災文化財救援活動報告展」を併催し、福島県内における被災文化財の救援活動について写真パネルをもとに紹介した。このほか会期中にコンサート、合唱プロジェクト等を実施し広く芸術に親しむ機会を提供した。

ア 会期 第 1 部「ルオー版画集ミセレーレ全作品」

平成 27 年 8 月 7 日(金)～20 日(木)

第 2 部「20 世紀ヨーロッパ版画の名作」

平成 27 年 9 月 9 日(水)～24 日(木)

イ 会場 福島県文化センター 2 階展示室

(福島市春日町 5-54)

ウ 展示数 第 1 部 58 点、第 2 部 79 点

エ 主催など

主催 福島県立美術館

共催 NPO 法人福島県立美術館協力会

後援 公益財団法人福島県文化財団、全国美術館会議、
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

オ 観覧料 無料

カ 観覧者数 第1部 754名、第2部 2,297名

キ 関連事業

(ア) ギャラリートーク

a 期日 8月8日(土)

解説 久慈伸一(当館専門学芸員) 参加者 15名

b 期日 8月15日(土)

解説 伊藤 匡(当館学芸課長) 参加者 15名

c 期日 9月12日(土)

解説 早川博明(当館館長) 参加者 30名

d 期日 9月19日(土)

解説 久慈伸一(当館専門学芸員) 参加者 30名

(イ) 「福島のかえ」公開制作および発表会

期日 9月21日(月・祝)

会場 福島県文化センター大ホール

後援 福島県合唱連盟

出演 タグチヒトシ氏(演出・作詞)、
畑中正人氏(作曲・サウンドデザイン)、
佐藤一成氏(声楽家・指揮)

参加者 60名 聴衆 102名

(4) ミュージアム・コンサート

福島県立美術館協力会、福島県立美術館友の会との共同開催によるコンサート。今年度は、県文化センターにおける移動展示「ふくしまからの発信」展において開催した。

「夏の夕べのコンサート シターの典雅な響き」

期日 平成27年8月8日(土)

会場 福島県文化センター2階展示室(参加無料)

演奏 中川啓子氏(シター奏者) 参加者 30名

(5) 友の会研修旅行

ア 「宇都宮美術館『パウル・クレー展』と那珂川町馬頭広重美術館を訪ねる旅」

期日 平成27年8月29日(土)

参加者 早川博明(当館館長)、伊藤匡(当館学芸課長)、
坂本篤史(当館副主任学芸員)ほか計41名

イ 「海外美術館研修 パリの美術館を巡る7日間の旅」

期日 平成27年11月10日(火)～16日(月)

参加者 早川博明(当館館長)ほか計19名

(6) 友の会実技講座

「カタチを変えて楽しめる絵を作る」

期日 平成27年11月7日(土)

講師 久慈伸一(当館専門学芸員)

会場 美術館実習室 参加者 7名

(1) 県立図書館との連携事業「スペシャルクリスマスin図書館」

小学生とその保護者を対象にした、図書館での絵本の読み聞かせと工作ワークショップ。

期日 平成27年12月19日(土)

参加者 24名(うち保護者10名)

(2) 文化財レスキュー事業

当館では平成25年5月13日より「福島県被災文化財等救援本部会議」の構成機関となり、県文化財課、県立博物館等と連携して東日本大震災により被災した文化財の救援活動にあっている。今年度は以下の活動に参加した。

ア 期日 平成27年5月12日(火)

場所 旧南相馬市立真野小学校、旧相馬女子高校

イ 期日 平成27年6月23日(火)

場所 浪江公民館請戸分館

(3) 公民館等への協力等

「県立美術館コレクションにみる魅惑の名画鑑賞 ～モネ、ルノワールからワイエス、関根正二まで～」

期日 平成27年12月5日(土)、12日(土)

講師 早川博明(当館館長)

会場 福島市吾妻学習センター 参加者 60名

第6節 施設・設備の整備

1 改修工事等

老朽化した施設・設備の改修工事等を実施した。

(1) 美術館・図書館空調設備等改修工事(電気)

平成26年12月11日～平成28年1月26日 (株)高電

(2) 美術館・図書館空調設備等改修工事(機械)

平成26年12月11日～平成28年1月26日

文化・倉島特定建設工事共同企業体

(3) 美術館トイレ改修工事(エントランス)

平成27年10月28日～平成28年1月25日

オークラ工業(株)

(4) 美術館屋根修繕工事(1工区)

平成27年12月3日～平成28年3月15日

田村建材(株)福島営業所

(5) 美術館屋根修繕工事(2工区)

平成27年12月28日～平成28年3月25日

田村建材(株)福島営業所

(6) 美術館企画展示室トイレ改修工事(機械設備)

平成28年2月23日～平成28年3月28日

(株)光和设备工業所

(7) 美術館企画展示室トイレ改修工事(電気設備)

平成28年2月23日～平成28年3月28日 (株)高電

5 その他の事業